

フロアマットの使用方法に起因する事故及びエンジンルーム内に可燃物等による火災の未然防止について

国土交通省では、自動車の不具合に対するユーザーの関心を高め、適切な使用や保守管理及び不具合発生時の適切な対応が促進されることを目的として、自動車メーカーから報告のあった自動車の不具合による事故・火災情報の中から、ユーザーへの注意喚起等が必要と考えられるフロアマットの使用方法に起因する事故及びエンジンルーム内に置き忘れた可燃物等による火災についてプレス発表するとともに、自動車使用者等に対する注意喚起について協力依頼がありました。

つきましては、整備入庫時等において、ユーザーに対しフロアマットの使用方法に起因する事故及びエンジンルーム内に置き忘れた可燃物等による火災について注意喚起をするとともに、整備工場においても点検・整備する際エンジンルーム等に可燃物の置き忘れの無いようお願い致します。

フロアマットの適切な使用方法

1. フロアマットをしっかりと固定して使用すること
2. フロアマットの重ね敷きは行わないこと
3. 運転前にフロアマットが正しく固定されているか確認すること
4. フロアマットとアクセルペダルが干渉して加速した場合にブレーキ操作を繰り返して行くと、ブレーキ倍力装置※の機能が大幅に低下するため、ブレーキ操作に大きな踏力（強く踏む力）が必要となること

※エンジン負圧をエネルギー源として、ブレーキの操作力を低減する装置。アクセルペダルを踏んでいるときは、エンジン負圧は発生しない。



エンジンルームの注意事項

1. 運行前に、エンジンルーム内に可燃物の置き忘れがないことを確認すること
2. 車両を長期間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝等がないことを確認する
3. 走行中、焦げた臭いを感じたときは、走行を継続しないこと

「ディーゼルクリーン・キャンペーン」の実施について

— 6月1日～6月30日の1ヶ月間は重点実施期間—

近年環境基準の達成状況に改善傾向がみられるものの、二酸化窒素（NO₂）及び浮遊粒子状物質（SPM）の環境基準が達成されていない地域が依然として残っている状況にあります。

特に、大気汚染への影響度が大きいディーゼル車については、昨年10月からポスト新長期規制が順次適用される等、逐次にわたる新車対策が実施されてきておりますが、引き続き環境基準の早期達成とその維持に向けて、使用過程車を含めたディーゼル車の排ガス対策の推進が求められております。

また、重油を軽油に混和する等により製造されるいわゆる不正軽油を自動車用燃料として使用することによる、黒煙等の有害物質の増加が懸念されております。さらに、不正軽油は、排出ガス規制の強化等に対応するため排出ガス浄化に係る構造装置が高度化しているディーゼル車に大きな悪影響を及ぼすことから、自動車の本来の性能を確保する観点からも、不正軽油の使用防止が強く求められております。

一方、自動車の地球温暖化対策の推進も重要であり、自動車単体の燃費性能を向上させることに加えて、駐停車時のアイドリングストップ、急発進や急加速の防止、交通の状況に応じた安全な定速走行といった、いわゆるエコドライブを普及していくことが不可欠であります。

このようなことから、標記キャンペーンを昨年度と同様に、6月の「不正改造車排除強化月間」及び秋に予定している「自動車点検整備推進運動強化月間」の10月を重点実施期間として実施することになりましたので、下記自動車整備業者における実施内容について、会員各位の積極的な取り組みをお願いいたします。

なお、本運動のチラシ、黒煙チャートを会員の皆様に配布いたしますので、ご活用下さい。

自動車整備業者における実施内容

① チラシを、ユーザーの目に付きやすい箇所に掲出する。

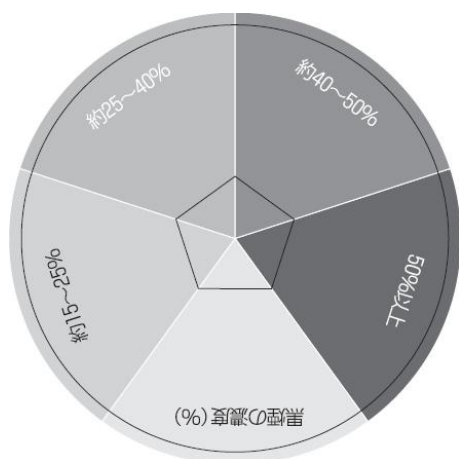
② 黒煙チャートによる目視点検

ディーゼル黒煙濃度を簡易的に点検できる黒煙チャートを使用して黒煙濃度の点検を行う。

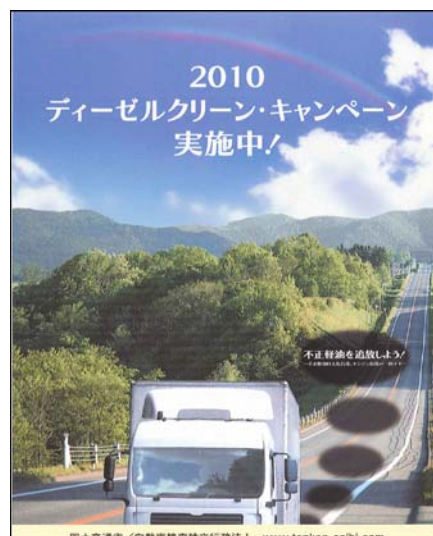
③ 入庫車両の点検の実施

ディーゼル車が入庫した際に、ユーザーにエアークリーナーが汚れたり詰まったりしていると黒煙発生の原因となることや定期点検の必要性を説明するとともに、ユーザーの理解を得ながら燃料噴射ポンプの封印チェックを行う

（電子制御式ガバナ付きの燃料噴射ポンプは除く）



黒煙濃度チャート



ディーゼルクリーン・キャンペーンチラシ

FAINES 加入促進キャンペーン

昨年10月のリニューアル時点で、約3000件を越える故障整備事例が登録されています。特に、保有台数が増える傾向にある長期使用車の情報に力を入れています。

車の不具合についての整備対応は、個々の事業者がノウハウを積み重ねたり、周辺の事業者同士でそれらを共有することはありますが、インターネットで共有するケースは、ごくまれです。FAINESでは新しいコンテンツ『故障整備事例&アドバイス情報』の提供を通じて、全国レベルの故障車に対する整備情報の共有や、故障車が入庫した時の適切な判断、FAINES利用者の作業レベルの向上などにつながることを期待しています。

業界のIT化及び活性化促進のため、FAINES加入促進キャンペーンを今年度も実施します。この機会に是非ご入会ください。

◇ 対象事業場 キャンペーン期間中に加入される会員事業場

◇ 期 間 **7月1日 ▶ 12月24日**

◇ 内 容 期間中に加入された会員の皆様に
(入会金 12,600円の内)

¥6300
キャッシュバック

◇ 情報の内容

タイトル: カムリ [ACV35]: エンジン警告等が点灯する
(初年度登録) 1995/05
車両情報: (エンジン型式) SA-FE
(車体番号) 000123
(その他) AT車、グレード: DX

一故障整備事例の情報閲覧に関するご注意一
● 故障整備事例は、情報提供者の体験結果を基にしているものです。故障は、現象が同じでも、その症状、原因、処方が多岐にわたりますので、この事例の方法によって、必ずしも問題が解決されるものではない。ご注意下さい。

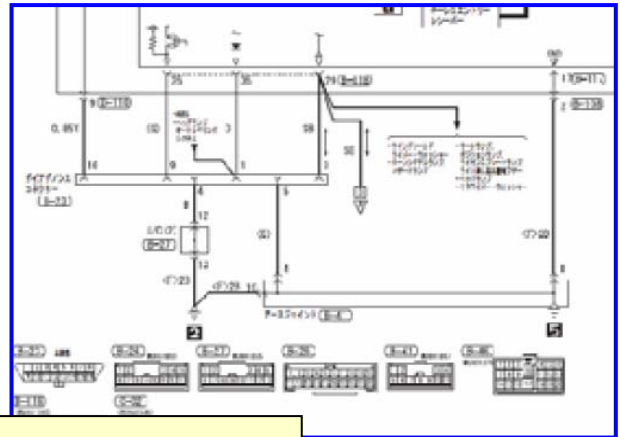
実行 キャンセル

初年度登録年月	(車名)	(車両型式)	(エンジン型式)	(車体番号)	(総走行距離)
1995年05月	トヨタ カムリ	ACV35	SA-FE	000123	123,987 km
(その他の情報) AT車、グレード: DX					
(状況) ・ 2008年6月、高速道路を運転中に突然エンジン警告灯点灯した。 ・ エンジンの調子は良好で、不具合は特に感じられない。					
(原因) O2センサー不良					
(整備内容) ① 専用端子を短絡し、ダイアグノーシスを実施すると「O2センサー系統」が表示 ② 単体点検すると、ヒーター回路が断線していた。 ③ O2センサーを交換し、正常となった。					
(整備箇所) 特になし					
(参考情報) ・ カローラ修理書1995年6月発行・2-15頁「RFFシステム」					

○故障整備事例&アドバイス情報

新コンテンツ!!

【配線図】



○整備マニュアル情報

(メーカー名、車種から検索し該当車種の整備書等閲覧)



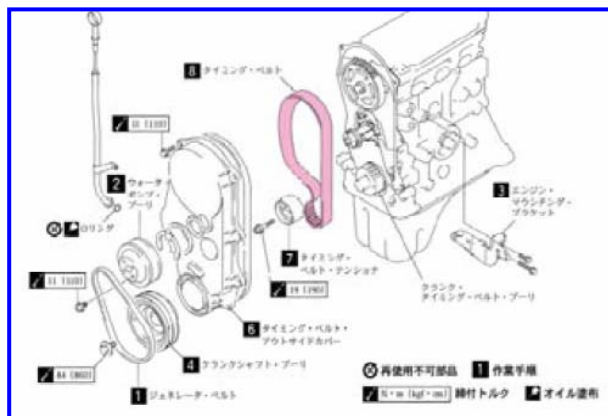
○技術情報

(新型車の解説、点検整備方式、
整備作業上のポイント等閲覧)



○国産&輸入自動車サービスデータ

(主要諸元点検整備基準値等閲覧)



○タイミング・ベルト交換要領

(エンジン型式別に交換要領閲覧)

電子配列および電子電圧表

番 名	車両型式	エンジン型式	適用時期	資料出典先
ムーブ	E-10223	504-E 504-E	昭和50月～ (平成1年6月～)	ムーブ・サービス・マニュアル(整備編)1 (M101)



504-E 点火系用端子

(注) 1. 本表は右側からコンディenserを脱した後の状態を示す。

2. コンデンサをコンディenserに短絡してある、コンデンサ脱落により故障する。

3. コンディenserを故障する恐れがあるため、2,3の30Vシールド線(シールド線)線に異音をつけ故障をしない。

4. エンジン回転状態が安定しない場合はエンジン停止、4～5 スイッチを短接して行う。

※ オイルスコープ使用

点検項目	端子	測定条件 (15℃(60°F))	基準値
電源系	①(+B1)→②(B1) ③(+B2)→④(B2)	—	バッテリー電圧
	①(BA1)→②(B2)	怠速	—
	①(VC)→④(B2)	—	4.5～5.0V
	①(BP)→④(B2)	センサー変換器 負圧200mV	2.4～3.0V 1.7～2.1V
圧力センサー系	①(P)→③(B2)	スロットル フルオープン	0.9以下

○電子燃料噴射装置故障探求マニュアル

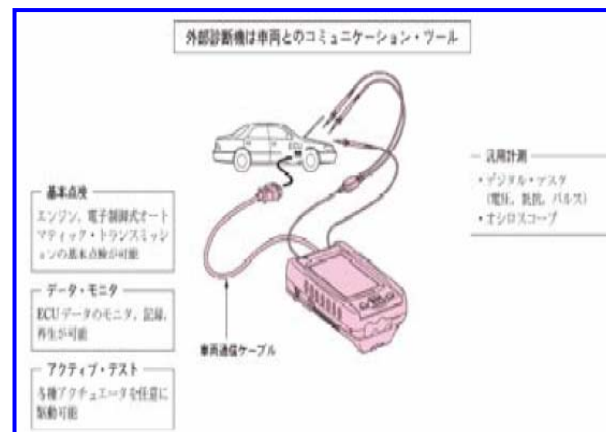
(主要車種のエンジン回路図、自己診断方法等閲覧)

メーカー	車名	型式	エンジン型式	備考
マツダ	デミオ	DW3W	B3-ME	—

定期点検		
0010	1年点検 基本点検 2WD車	1.4
0020	2年点検 基本点検 2WD車	2.2
	3年点検 保安確認検査	1.5

定期点検附加作業		
(軽自動車以外の貨物車は12か月点検時のみ適用)		
0100	下廻り塗装	1.2
0110	ヘッドライト調整	0.4
0120	フロント及びリア・ブレーキ清掃(1台)	0.3

○自動車整備標準作業点数表
(車種毎に点数閲覧)



○自動車整備新技術
(整備主任者研修用資料閲覧)

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL 03-5253-8111 (内線 42051)
FAX : http://www.alit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成21年7月

リコール届出番号	2357	リコール開始日	平成21年7月2
----------	------	---------	----------



○リコール・改善対策情報
(型式や届出番号をキーワードにすれば該当車両を素早く検索)

自動車のかじ取り車輪の 「横すべり量の例外的取扱い車両」について

自動車のかじ取り車輪の横すべり量の例外的取扱い車両の追加について、国土交通省より通達がありました。横すべり量の例外的取扱い車両の詳細を今回の追加車両も含め、一覧表を会員ページに掲載しておりますのでご確認ください。

今回追加があった車両

アウディ

車名	型式	通称名
アウディ	ABA-8RCDNF	アウディ Q5 2.0T クアトロ
アウディ	ABA-8RCALF	アウディ Q5 3.2 クアトロ
アウディ	ABA-42BUJF	アウディ R8 V10 5.2 クアトロ
アウディ	ABA-8FCAKF	アウディ S5 カブリオレ
アウディ	ABA-8FCALF	アウディ A5 カブリオレ 3.2 クアトロ
アウディ	ABA-8KCAKF	アウディ S4
アウディ	ABA-8TCDNL	アウディ A5 SB 2.0T クアトロ
アウディ	ABA-8TCALL	アウディ A5 SB 3.2 クアトロ

シトロエン

車名	型式	通称名
シトロエン	ABA-B585FTP	C4 ピカソ
シトロエン	ABA-B585FXP	C4 ピカソ
シトロエン	ABA-B585FT	C4 ピカソ
シトロエン	ABA-B585FX	C4 ピカソ
シトロエン	ABA-B585F04P	C4 ピカソ
シトロエン	ABA-B585F04	C4 ピカソ

プジョー

車名	型式	通称名
プジョー	ABA-A75F01	207
プジョー	ABA-A7C5F01	207CC
プジョー	ABA-A7W5F01	207SW
プジョー	ABA-T75F04	308

BMW

車名	型式	通称名
BMW	ABA-ME14	MINI One Clubman
BMW	ABA-MF16S	MINI Cooper S (類別0101・0102)
BMW	ABA-MM16	MINI Clubman Cooper S (類別0101～0108)
BMW	ABA-GY44	X5M
BMW	ABA-GZ44	X6M
BMW	ABA-KB60	760 Li
BMW	ABA-SN44	550 i グランツーリスモ
BMW	CBA-SN30	535 i グランツーリスモ
BMW	CBA-FR35	535 i
BMW アルピナ	ADC-3N1A	D3ヒ・ターボ/D3ヒ・ターボツリンク
BMW アルピナ	ADC-3N1M	D3ヒ・ターボ/D3ヒ・ターボクーペ
BMW アルピナ	ABA-JM10	B7ヒ・ターボ
BMW アルピナ	ABA-KM10	B7ヒ・ターボロング

フェラーリ

車名	型式	通称名
フェラーリ	ABA-F149	カリフォルニア

マセラティ

車名	型式	通称名
マセラティ	ABA-MGTA	グラントウーリズモSオートマチック
マセラティ	ABA-MQPG	クアトロポルテ スポーツGTS

メルセデス・ベンツ

車名	型式	通称名
メルセデス・ベンツ	CBA-164177	ML63
メルセデス・ベンツ	DBA-212054C	E300
メルセデス・ベンツ	DBA-212056C	E350
メルセデス・ベンツ	DBA-212056	E350
メルセデス・ベンツ	CBA-212072	E550
メルセデス・ベンツ	CBA-212077	E63
メルセデス・ベンツ	DBA-207356	E350 クーペ
メルセデス・ベンツ	CBA-207372	E550 クーペ
メルセデス・ベンツ	CBA-204047	C250 CGI
メルセデス・ベンツ	CBA-204247	C250 CGI ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DBA-204254	C300 ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DAA-221195	S400 HYBRID
メルセデス・ベンツ	DBA-221186	S550 4MATIC
メルセデス・ベンツ	DBA-169032	A170/A180
メルセデス・ベンツ	CBA-245232	B170/B180
メルセデス・ベンツ	CBA-245233	B200
メルセデス・ベンツ	CBA-245234	B200ターボ
メルセデス・ベンツ	DBA-207347	E250 CGI クーペ
メルセデス・ベンツ	DBA-212087C	E350 4MATIC
メルセデス・ベンツ	DBA-212047C	E250 CGI
メルセデス・ベンツ	DBA-204047	C250 CGI
メルセデス・ベンツ	DBA-204247	C250 CGI ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DBA-204048	C200 CGI
メルセデス・ベンツ	DBA-204248	C200 CGI ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	CBA-212272	E550 ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	LDA-212024C	E350BlueTEC
メルセデス・ベンツ	LDA-212224C	E350BlueTECステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DBA-212254C	E300ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DBA-212256C	E350ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DBA-212256	E350ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DBA-212247C	E250CGIステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DBA-212287C	E350 4MATIC ステーションワゴン
メルセデス・ベンツ	DBA-207456	E350カブリオレ
メルセデス・ベンツ	DBA-212277	E63ステーションワゴン

経営委員会が開催されました

- ◇日 時 平成22年5月19日(水) 16:00～
- ◇出席者 清水委員長、渡辺副委員長、五味(公)委員、麻川委員、稲葉委員、
保坂委員、高部委員、堀田委員、五味(信)委員
荻原会長同席
- ◇会議事項
- (1) 点検整備の推進について
 - ・ 入庫促進・来店頻度向上マニュアルの活用と点検整備促進グッズの検討
 - ・ お楽しみくじ付きシールの作成
 - ・ 点検整備推進イベントの開催
(第18回山梨県自動車整備技能競技大会と同時開催)
 - (2) 整備事業場の環境対策の推進について
 - ・ 事業場の温暖化防止CO2削減への対応
 - ・ 環境に優しい自動車整備事業場の推進
 - (3) 社会貢献事業の実施について
 - ・ こども110番広報の継続実施
 - (4) その他

教育委員会が開催されました

- ◇日 時 平成22年5月19日(水) 13:30～
- ◇場 所 振興会 会議室
- ◇出席者 羽田委員長、渡辺副委員長、笹本委員、樋口委員、別符委員、
大久保委員、藤井委員
荻原会長同席
- ◇会議事項
- (1) 自動車整備技術向上対策の実施
 - ・ 全支部参加第18回山梨県自動車整備技能競技大会の開催について
(点検整備推進イベントと同時開催)
 - ・ 実習教育教材の充実について
 - ・ 技術研修会・講習会の充実と整備技術情報の提供について
 - (2) その他
 - ・ F A I N E S 加入促進キャンペーンについて

平成21年度第2回自動車整備技能登録試験の結果について

標記登録試験の筆記試験が、平成22年3月21日（日）振興会研修センターにて実施され、一級小型口述試験は、平成22年5月9日（日）東京亜細亜大学にて実施されました。

試験結果は次のとおりでした。

種 目	受験者数	合格者数	合格率（％）
一級小型（筆記）	17	3	17.6％
一級小型（口述）	3	2	66.7％
二級ガソリン	46 (15)	21 (7)	45.7％ (46.7％)
二級ジーゼル	19	13	68.4％
三級シャシ	3	2	66.7％
三級ガソリン	42 (8)	18 (6)	42.9％ (75.0％)

※（ ）内は第114期技術講習所受講生結果です。

※一級小型の口述試験は、筆記試験合格者が対象です。

外部診断機等取扱講習会のお知らせ

自動車の故障探求に、今後なくてはならない機器となった外部診断機！

講習所所有の外部診断機等を使用して、機器の取扱い方法及び実車での簡易な故障探求を行います。この機会にスキャンツールの使用方法を学んでみませんか？

講習時間は3時間、午前及び夜間のコースを予定しています。

記

◇ 講習日 平成22年7月 1日（木）午前コース 9：00～12：00

夜間コース 18：30～21：30

8月19日（木）午前コース 9：00～12：00

夜間コース 18：30～21：30

◇ 講習場所 振興会 研修センター及び実習場

◇ 担当講師 技術講習所 専任講師

◇ 講習内容 スキャンツール（日立HDM3000等）コードリーダー（3111JP）

等を使い、機器の取扱い方法と実車での簡易な故障探求

（昨年行いました外部診断機等取扱講習と同じ内容です）

◇ 持ち物 サーキットテスタ（デジタルまたはアナログ）、筆記用具

◇ 受講料 3,000円（テキスト代含む）【注意 夕食の準備はありません】

（申込後の未受講において、受講料の返金は出来ませんのでご了承下さい。）

◇ 定員 各コース先着10名（各コース定員になり次第締切とさせていただきます）

◇ 受付期間 5月24日（月）～6月18日（金）

◇ 申込方法 申込書は、本誌巻末・教育課窓口にあります。また、振興会ホームページ（<http://www.ams.or.jp/index2.html>）の「会員ページ」からもダウンロードできます。

必要事項を記入の上、受講料を添えて教育課までお申し込み下さい。

自動車電気基礎入門(STEP UP 1)講習会のお知らせ

自動車整備、故障探求を行うにあたり、電気を切り離して考えることが出来ません。

「知っていたはず・・・」が、忘れかけている事ありませんか？

この機会にもう一度復習のつもりで参加して頂けますようお願いしています。

記

- ◇ 講習日 平成22年7月15日(木) 9:00～16:00
- ◇ 講習場所 振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 技術講習所 専任講師
- ◇ 講習内容 電圧・電流・抵抗・電気回路の読み方など、電気パネルを使用した講習です。
- ◇ 持ち物 サーキットテスタ(デジタルまたはアナログ)、筆記用具
- ◇ 受講料 1,500円(テキスト代含む)
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ませんのでご了承下さい。)
- ◇ 定員 **先着10名**(定員になり次第締切とさせていただきます)
- ◇ 受付期間 平成22年6月14日(月)～7月2日(金)
- ◇ 申込方法 申込書は、本誌巻末・教育課窓口にあります。
また、振興会ホームページ(<http://www.ams.or.jp>)の「会員ページ」からもダウンロードできます。必要事項を記入の上、受講料を添えて教育課までお申し込み下さい。

次回は平成23年2月を予定しています。

自動車ボディー電装(STEP UP 2)講習会のお知らせ

自動車のボディー関係の電気回路についての講習会です。

システム回路図などを読みながら、作動確認及び故障探求をしてみましょう。

記

- ◇ 講習日 平成22年7月22日(木) 9:00～16:00
- ◇ 講習場所 振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 技術講習所 専任講師
- ◇ 講習内容 ボディー電装関係の電気回路を理解し、電気パネルや実車を使用した作動確認、故障診断等の講習です。
【注意:回路図を使って行いますが、回路図の読み方の講習は行いませんので、自動車電気基礎入門を受講済みの方、又は回路図が読める方を対象とします】
- ◇ 持ち物 サーキットテスタ(デジタルまたはアナログ)、筆記用具
- ◇ 受講料 2,000円(テキスト代含む)
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ませんのでご了承下さい。)
- ◇ 定員 **先着10名**(定員になり次第締切とさせていただきます)
- ◇ 受付期間 平成22年6月14日(月)～7月9日(金)
- ◇ 申込方法 申込書は、本誌巻末・教育課窓口にあります。
また、振興会ホームページ(<http://www.ams.or.jp>)の「会員ページ」からもダウンロードできます。必要事項を記入の上、受講料を添えて教育課までお申し込み下さい。

次回は平成23年2月を予定しています。

自動車エンジン電装(STEP UP 3)講習会のお知らせ

自動車のエンジン故障は、日々複雑になっています。

また、専用機器を使用しないと故障系統すら分からない状態です。

振興会所有の外部診断機を使って、エンジン電装理論、故障診断をしてみましょう。

「外部診断機等取扱講習」の応用講習です。

記

- ◇ 講習日 平成22年7月29日(木) 9:00~16:00
- ◇ 講習場所 (社)山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 技術講習所 専任講師
- ◇ 講習内容 自動車エンジン電装の理論と、ベンチエンジンや実車を使用した故障診断等の講習です。
【注意 回路図を使って行いますが、回路図の読み方の講習は行いませんので、自動車電気基礎入門を受講済みの方、又は回路図が読める方を対象とします】
- ◇ 持ち物 サーキットテスタ(デジタルまたはアナログ)、筆記用具
- ◇ 受講料 4,000円(テキスト代含む)
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ませんのでご了承下さい。)
- ◇ 定員 先着10名(定員になり次第締切とさせていただきます)
- ◇ 受付期間 平成22年6月14日(月)~7月16日(金)
- ◇ 申込方法 申込書は、本誌巻末・教育課窓口にあります。
また、振興会ホームページ(<http://www.ams.or.jp>)の「会員ページ」からもダウンロードできます。必要事項を記入の上、受講料を添えて教育課までお申し込み下さい。

次回は平成23年2月を予定しています。

トヨタ・ホンダ車のレスキュー時の取扱いについて!

事故時等の乗員を救助する際、安全に作業していただく為に必要な知識として「ハイブリッド車の緊急時の取扱い」について、両メーカーのホームページから取り出すことが出来ます。

下記ホームページアドレスから確認して下さい

トヨタ「ハイブリッド」全車種

<http://www2.toyota.co.jp/jp/tech/safety/technologies/rescue/hv.html>

ホンダ「ハイブリッド」全車種

<http://www.honda.co.jp/rescue-auto/>